



マスコットキャラクター
「とみ山くん」

教育目標 「進んで学び 豊かな心で やりぬく子」

とみおか

令和5年2月20日
上越市立富岡小学校
学校だより No.10

<http://www.tomioka.jorne.ed.jp/> E-mail:tomioka@jorne.or.jp TEL:025-523-2843

雪を楽しむ子どもたち ～スキー・スケート・雪遊び～

子どもの頃に思う存分に遊ぶことが、どれほど大切であるのかは、大人になって気づくことかもしれません。子どもたちは雪が大好きです。寒さの中でも、雪だるまやかまくらを作ったり、雪合戦をしたり、そり遊びをしたりと夢中で遊んでいます。ふわふわの雪の上を歩く感触や冷たさを感じ取ったり、造形活動を楽しんだり、友達とかかわったりできる雪は、子どもたちにとって魅力的な教材です。

3日（金）は、3～6年生のスキー教室を行いました。キューピットバレイスキー場の8名のインストラクターと10人の保護者ボランティアの皆さんのおかげで、子どもたちは存分にスキーを楽しみ、技能を高めました。スキー初体験の子どもたちも一人でリフトに乗って、ゲレンデを滑り下ることができるようになりました。

8グループのそれぞれが技能に応じた斜面での滑りを楽しんだり、インストラクターや保護者ボランティアの皆さんとかかわったりしながら、生涯にわたる雪国のスポーツライフにつながるスキーの楽しさや面白さ、雪国・上越のよさを感じることができたのではないかと思います。ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。



24日（金）には、1・2年生が妙高青少年自然の家で「雪遊び」を行います。そりやチューブで長い坂を滑ったり、雪積み競争などの雪上運動会を行ったりするなど、様々な雪国の楽しみを計画しています。

スケート学習は、全学年で行っています。10日（金）は4～6年生、17日（金）は2・3年生のスケート学習でした。

リージョンプラザのインストラクターから、氷の上での立姿勢や歩き方、滑り方、止まり方、安全な転び方などを教えていただきました。その後、子どもたちは友達と一緒に楽しそうにリンクを何周も回っていました。

学区にスケート場がある恵まれた環境を生かして、冬季スポーツの様々な面白さに触れてほしいと思っています。



「スケート教室(4～6年生)」

版画の魅力と楽しさ満載

～校内版画展実施中～

版画には様々な手法があります。型押しやローラー遊び、紙版画、スチレンボード、木版画、一版多色刷り版画など、学年に応じた様々な版画が完成しました。

版画の一番の醍醐味は転写された刷り紙をめくる瞬間にあります。1つの版から様々なバリエーションができたり予想を超える刷り具合になったりすると子どもたちからは「わーっ」とか「やったー」などの驚きや喜びの声が自然に表れていました。

「富岡の版画」(S48・S53刊行)には、牛の世話や風呂焚き、炬燵での繕い物など、当時の生活の様子が白黒の画面に生き生きと描かれています。昔も今も、版画作品からは子どもたちの思いやエネルギーが伝わってきます。

一人一人の思いが込められた作品は、3月10日(金)まで各学年廊下に展示しています。ご来校の際には、それぞれの作品のよさや面白さを感じていただければと思います。



「版画展(5年生)」

自己肯定感を高める ～ハッピーレターの取組～

今月は、「ハッピーレター(よいところを伝え合う手紙)」に取り組んでいます。これは、お互いによりよいところを伝え合うことで、違いを認め合い、自己肯定感を高めるための取組です。

各学級では、子ども同士がお互いのよいところをカードに書いて交換し合いました。また、家族から我が子へ、子どもからおうちの人へと家族での伝え合いを行っていただきました。取組をとおして「自分のことが好き」という気持ちを高め、様々なことに前向きに取り組もうとする力を育てていきたいと考えています。



「真剣なまなざしで見ている1年生」

子どもは「家庭で育ち、学校で学び、地域で伸びる」

8日（水）は、新入学予定児の体験入学でした。18人の子どもたちは次年度に最高学年となる5年生とのふれあい活動を行いました。保護者の皆様には、学校生活や入学までに準備するものについての説明や学校での健康管理と対応、PTA活動の概要と学年役員の選出、家庭教育支援ガイドブック活用リーフレットの紹介等を行いました。

「家庭教育」は、子どもが家族とのふれ合いを通して基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割を担っています。子育ての四つの要素である「世話」「指示」「授与」「受容」のさじ加減を大事にしたいものです。

- ・「世話」・・・失敗しても責めずに繰り返し教え、できたらほめることで自信をもたせましょう。それが「自分のことは自分でできる」自立につながります。
- ・「指示」・・・親が先回りしない。失敗が成長には必要と考えて見守りましょう。子どもは指示されて行動して失敗すると人のせいにするようになります。
- ・「授与」・・・欲しいものが本当に必要なものか一緒に考えましょう。我慢することは心を成長させるために必要です。
- ・「受容」・・・その子自身を認めましょう。その子自身の思いや成長を受容し、他の人の迷惑を考えない自己中心的な行動には毅然と対応することが重要です。

（新潟県「家庭教育支援ガイドブック」より）

*右のQRコードから、新潟県「家庭教育支援ガイドブック」活用リーフレットをご覧ください。



「5年生による読み聞かせ」

富岡小学校後援会と地域の皆様へのお礼

後援会は、富岡小学校の教育活動を援助し、その振興を図ることを目的に事業を行ってくださっています。その事業推進のために、校区の全世帯から会費を納めていただいています。今年度は、その貴重な浄財を、スキーインストラクターや金管指導者、クラブ活動等の外部講師へのお礼、各種団体負担金や職員研修図書・児童図書の購入、落語鑑賞会参加費、動物飼育小屋の整備、本棚材料、金管楽器の修理、廊下ワックス掛け委託、アクリルパーテーション、折り畳み机、教室背面黒板用ホワイトボード、さすまた等、様々な教育活動支援や教育環境整備等に活用させていただきました。

地域の皆様からの温かいご支援に感謝申し上げます。これからも感謝の気持ちを忘れずに、役員の皆様と相談しながら、地域の未来を担う子どもたちのために有効に活用させていただきますので、よろしく願いいたします。



「外部講師による金管指導」

第3回150周年実行委員会より ～各部の進捗状況～

15日(水)の第3回実行委員会では、各部の進捗状況を共有しました。記念公演は「保倉川太鼓」に決定し、親子活動は「エコバッグ工作」「気球体験」の方向で話し合いが進んでいます。記念誌は20ページ程度の小冊子になる予定です。また、令和5年度は、様々な行事等を150周年記念として内容を工夫していくことが確認されました。

3月の主な行事予定

- 2日(木) 委員会活動
- 3日(金) 6年生を送る会、学校運営協議会、学校司書来校日
- 7日(火) 心のアンケート
- 9日(木) 学習参観、学年懇談会
- 14日(火) 学校訪問カウンセラー来校日、学校司書来校日
- 15日(水) 5限放課
- 16日(木) 5限放課、通学班児童会、PTA役員会
- 17日(金) 5限放課
- 22日(水) 5限放課
- 23日(木) 3学期終業式
- 24日(金) 第76回卒業式
- 27日(月) 離任式、春休み(3/27～4/6)

4・5年生の新体制での委員会活動を6年生がサポートしています。

17日から新登校班でメンバーや並び方等を確認しながら登校します。子どもたちの通学の見守りをよろしくお願いいたします。

前まわし跳びや二重跳び、サイドクロス等を30秒跳び続ける個人種目とグループで大縄を2分間跳んだ数を競うチーム種目で、自己ベストにチャレンジしました。



2/9 「なわとびチャレンジ」



2/1 「警察と連携した不審者対応避難訓練」



2/14 「金管部の6年生に感謝する会」



2/2 「節分集会・クイズラリー」⇒